

シグマ研究委員会
61年度第5回運営委員会議事録（案）

日 時 昭和61年11月 7日（金） 13:30 ~ 17:30
場 所 幸ビル 第1305会議室
出席者 鹿園（委員長、原研）
梶山（東北大）、中嶋（法政大）、村田（NAIG）、若林（動燃）
五十嵐、河原崎（原研）
オブザバー：浅見、中川（原研）

配布資料

1. 第4回運営委員会議事録（案）
2. 核データ国際会議準備状況
3. JENDL-3以降の計画についての答申
4. JENDL-3編集打合せメモ
5. 国際会議資料
- 5.'AGM on Nuclear Theory for Fast Neutron Nuclear Data Evaluation
6. Specialists' Meeting for Decay Heat Predictions
7. シグマ特別専門委員会内規

議 事

1. 議事録確認

前回9月1日の会合の議事録案（資料1）の確認を行った。

2. 事務局報告

(1) 核データ評価ニュースレターへの寄稿について

締切りは11月15日であるので寄稿して欲しいとの要請があった。

(2) 速中性子断面積ニュースレターへの寄稿要請について

五十嵐氏から要請とともに、ニュースレター類への対応について検討の余地があるとの説明があった。

(3) 核データニュース、プログレス・レポートの発行予定について報告があった。

3. 核データ研究会の準備状況

事務局から準備状況、出席予定数等について報告があった。

4. 核データ国際会議準備状況

五十嵐氏から、資料2による最近の準備状況についての報告とともにポスターおよび第1次案内の紹介があった。この中で、日本語版第1次案内も作成中であること、会場の水戸プラザ・ホテルを仮予約したこと等の説明があった。外国からは“basic nuclear physics with neutronsなどの基礎的話題が少い”との意見が多かったこと、国内の参加については“かなり運動する必要がある”こと等の紹介があった。

中川氏からはポスターおよび第1次案内の送付先の整理状況について説明があった。

5. 学会関係

来春の学会での特別会合のテーマについて討議を行い、候補として、JENDL-3の現状と今後の問題、PWRのスペクトル・シフトと核データ、共分散データ等が挙ったが、次回にさらに検討することにした。

6. JENDL-3以降の計画検討小委員会からの答申書の検討

中川氏から、資料3の説明とともに詳細な報告書はJAERI-memoとして印刷中であるとの報告があり、討議を行った。

その結果、答申書を受理することにし、個々の問題については小人数のグループで検討することにした。データ・ブックについては片倉氏および吉田（正）氏に、標準炉定数については長谷川氏に案を作成して貰うこととした。

7. JENDL-3編集の進め方について

浅見氏から資料4により、JENDL-3編集グループの再編成および編集グループの打合せ会での討議事項について報告があった。これに対して、JENDL-3データの評価の進行状況の表が必要との指摘があった。また、JENDL-3データの検討のやり方について討議が行われ、WGとの連絡を十分にとる必要があるとのコメントがあった。

8. IAEA研究協定への対応について

五十嵐氏から資料5により、今後の国際会合の予定、とともに資料6の Specialist Meeting for Decay Heat Predictionsへの対応の説明があった。

また、Nuclear Atomioic/Molecular Data for Nuclear Particle Therapyと Nuclear Level Densityに関する研究協定への日本の参加について要請がきているとの説明があった。後者については畠山氏が織原氏（東北大）に打診し

てみることになった。前者については中村氏（東北大）が関心を持っているので、IAEAの岡本氏から直接に連絡をとって貰うこととした。

鹿園氏から、資料5'により AGM on Nuclear Theory for Fast Neutron Nuclear Data Evaluation の Organizing Committee のメンバーの推薦について提案があり、11月末までに鹿園氏に連絡することになった。

9. シグマ特別専門委員会62年度委員候補選考について

五十嵐氏から、シグマ研究委員会の62年度委員の発令手続きを来年1月末に提出しなければならないので、シグマ特別専門委の内規（資料7）に沿って検討したいとの説明があり討議を行ったが、次回の会合に事務局案を提出して貰い検討することにした。

10. 専門部会報告

中嶋氏から核構造・崩壊データ専門部会について、また村田氏から核データ専門部会について、それぞれの最近の活動状況について報告があった。

次回には、医学用原子分子・原子核データWG, F P核データWG, J E N D L 積分評価WGから報告を受けることにした。

次回は12月16日（火）に原研本部で行う予定。